

第3期(2005年度)SSCS (Small Schools for Civil Society)

インターンシップ奨励プログラム

活動カリキュラム(2005年6月~2006年5月)

団体概要

記入日 2005年2月

団体名 (小さな学校)	特定非営利活動法人ぱれっと (略称:ぱれっと)
代表者・連絡担当者	代表者 理事長 谷口奈保子 連絡担当者 高尾美幸
団体住所等	〒150-0022 東京都渋谷区東3-19-9 恵比寿イーストビル101 電話:03-5766-7302 FAX:03-3409-3790 E-mail: sasaeru@kdmf.ftbb.net URL: http://www.npo-palette.or.jp 連絡のつく曜日・時間帯:月曜日~金曜日 9:00a.m.~17:00p.m.
設立時期	1983年7月 設立

団体の活動目的と活動内容

目的:ぱれっとは、就労・暮らし・余暇などの生活場面において障害のある人たちが直面する問題の解決を通して、すべての人たちがあたり前に暮らせる社会の実現に寄与する

活動:障害者の生活圏拡大と人間関係を作る余暇活動の場「たまり場ぱれっと」、就労の場であるクッキー・パウンドケーキの製造・販売「おかし屋ぱれっと」とスリランカ料理を提供するレストラン「Restaurant & Bar Palette」、自立生活を育てる暮らしの場「えびす・ぱれっとホーム」、国際交流・援助を目的とする「ぱれっとインターナショナル・ジャパン」によるスリランカの障害者支援の場「スリランカぱれっと」の5つのセクションが活動を展開しています。

活動カリキュラム

活動名	障害のある人もあたり前の生活ができる豊かな社会づくり
主な活動場所 最寄駅名と駅からの距離	JR線 地下鉄日比谷線 最寄駅:恵比寿駅 西口から徒歩7分以内

<p>スケジュール</p> <p>2005年6月 2006年6月</p> <p>各セクションの研修</p> <p>その他</p>	<p>< 活 動 な ど > (カリキュラムは、状況や事情により変更になる場合があります)</p> <p>入校式・事前研修会(3期) 修了報告会(3期) / 入校式・事前研修会(4期)</p> <p>Restaurant&Bar Palette</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修日時：月1～2回程度(日中または夜のシフト制) ・キッチン・ホールの現場実習 ・分野を超えたNPOの出会い、連携の場「ぱれっとサロン」(月1回)の企画・運営など <p>たまり場ぱれっと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月下旬の日曜日「ティーボール大会」イベントへの参加 ・たまり場会議への参加(企画運営)：毎週木曜PM7：30～9：30 ・たまり場開放日(毎月第1日曜)各種クラブ活動(随時)への参加 ・宿泊行事(8月13～14日、2月4～5日)の企画運営と当日参加 ・ボランティアワークショップへの参加(年2回程度) <p>福祉作業所おかし屋ぱれっと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修日時：随時(午前～夕方) ・クッキー&パウンドケーキの製造 ・販売営業のマネジメント ・通所員(知的障害者)への指導教育 ・就労支援のノウハウ ・他施設見学 <p>スリランカ Palette</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修日程：12～3月の2週間スリランカで研修 ・組織づくりのマネジメント ・海外支援のあり方 ・クッキーの製造 ・販売のマネジメント ・スリランカ人スタッフへの指導教育 ・通所員(知的障害・聴覚障害)への指導教育 ・地域とのかかわり(ホームステイを通して) ・他施設見学 <p>えびす・ぱれっとホーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修日時：随時(夕方から宿直〔22：00～翌朝6：00〕して翌朝10：00頃まで又は、夕方から22：00まで) ・就労する知的障害者の生活や生活支援を知る ・地域生活の実際を知る <p>NPO 法人全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会(5月中旬の日曜日) ・ぱれっと福祉バザー(10月) <p>(注)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人ぱれっとは5つのセクションを有し、各セクションが持つ役割にそって独自の活動を実施しています。同時に、ぱれっと全体の共通課題の下で実施しているイベントもあります。時間の許す限りどのセクションにも参加することを望みます。 ・また、ぱれっとの組織全体のマネジメントを把握するためには、事務局会議、運営会議、編集会議〔ぱれっとつうしん〕(月1回)、理事会(年4回)の会議にも出席することを勧めます。 ・前月末までに翌月の研修予定日及び研修セクションの希望を提出していただきます。 ・毎月5日までに、前月の簡単なレポートを提出していただきます。 ・希望があれば、他団体の訪問やシンポジウムなどに参加できます。
--	--

総括的な受け入れ指導者名(スーパーバイザー): 谷口奈保子

日常的な受け入れ担当者名(メンター)

: 「たまり場ぱれっと」菅原睦子

「おかし屋ぱれっと」相馬宏昭

「Restaurant & Bar Palette」南山達郎

「えびす・ぱれっとホーム」三森紀子

「スリランカぱれっと」谷口奈保子、相馬宏昭

インターンに期待すること(求められる専門性、技能などについて)

特に専門性は必要としませんが、障害のある人たちに関心を持ち、彼らと共に活動したい、社会の中でNPOの果たす役割とそのマネジメントを学びたい、活動を通して暮らしやすい地域を創造したいという意欲のある人を歓迎します。人と接するのが億劫と感じる人はぱれっとの活動には向きません。また、スリランカでの研修もありますので、初級程度の英会話ができれば研修はなお充実すると思います。

活動日について

- ・ 現場での活動: 少なくとも週1回(活動によって土、日に出る場合もある) 各セクションと要相談
- ・ 各種会議: 月2回~4回
- ・ スリランカぱれっと研修(10日間~14日間) インターンの長期休暇中に集中研修)

団体の活動を理解するために役に立つと思われる資料や情報

- ・ 「NPO基礎講座」(山岡義典編著 ぎょうせい刊)
- ・ ガバナンス(2003年11月号P112~113)“NPOセクター自立への道”
- ・ 月刊福祉(2001年7月号)“福祉サービスマネジメント 新事業立ち上げのマネジメント”
- ・ NHK社会福祉セミナー(2001年12月~2002年3月)
- ・ NPOジャーナル 座談会(2004年Vol.5)
- ・ 月刊社会教育(2004年9月号)「特集」障害のある人の学び-地域・暮らし
~障害をもつ人の余暇・就労と国際支援~
- ・ その他、月刊「ぱれっとつうしん」、ビデオ「スリランカにぱれっとを創ろう」、ホームページなど

その他

ぱれっとは2003年に20周年を迎えたことを一つの節目とし、2004年度は新しい企画を極力抑えて、その時間をミッションの確認、組織全体(システム)の見直し、資金調達の努力、スタッフの育成などに力を入れてきました。中でも、外部評価を取り入れるべく、NPO法人パブリックリソースセンターの力を借りて、今後のぱれっとの方向性として2005年度から始まる中期目標を立ち上げました。この作業が各セクションの見直しにつながり、スタッフの学びやスタッフ間のコミュニケーションの充実を深める結果となりました。そのような状況を踏まえて、障害者団体が何を目指し、どのような問題を抱えながら解決に向けて地域で活動を展開しているのかをインターンの目でじっくり観察し、共に考えていただくことを期待しています。また、6年目を迎えたスリランカでの障害者就労支援活動(NGOスリランカぱれっと)での研修を通して、発展途上国の現状と障害者の置かれた環境を実際に見聞することは、インターンにとって、かけがえのない学びとなることを確信しています。

先輩からのメッセージ

海老原 里沙 第2期インターン 大学4年(参加当時)

知的障害のある人と話したことさえなかった私が、ぱれっとでインターンをして一年が経とうとしています。言葉では言い尽くせない、最高の時間をここで過ごしてきました。あなたもそれを肌で感じてください。ぱれっとには、たくさんの出会いがあります。スーパーバイザーの谷口さん、メンターの方々、そして一期インターンの田口さん、たくさんの方々に本当にお世話になりました。感謝の気持ちでいっぱいです。次はあなたにお会いできることを、心から楽しみにしています。

先輩からのメッセージ

鈴木 さやか 第2期インターン 看護専門学校2年(参加当時)

「今」の社会を意識しながら、常により良いものを作り上げていこうとするぱれっとをまのあたりにしてきました。インターンシップを通して自分自身を見つめなおすことができ、さまざまな発見がありました。多様なぱれっとの活動に参加することで視野が広がり、充実した活動をしています。
